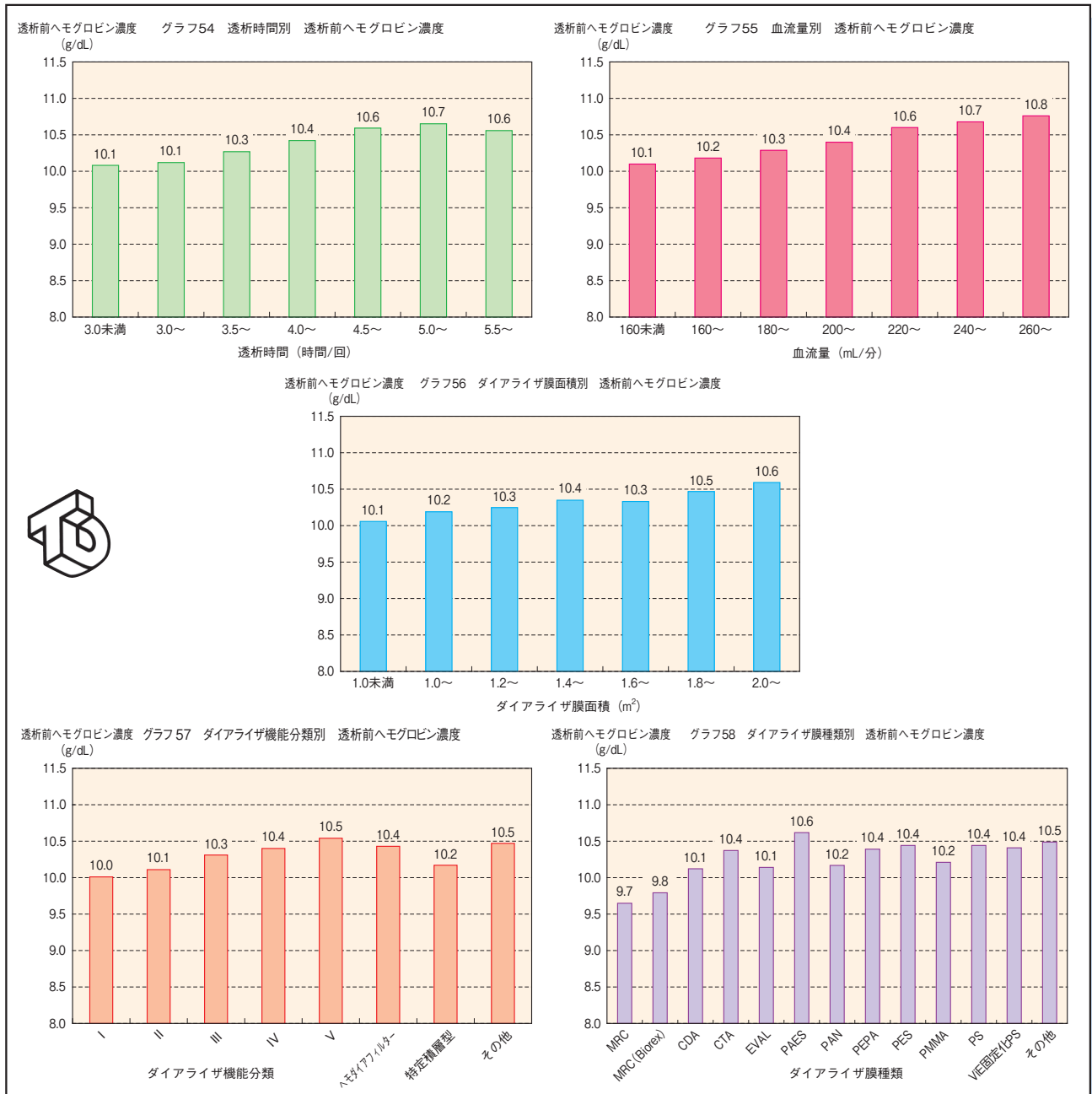


4) 血液透析条件と各種データ

(8) 透析条件と透析前ヘモグロビン (Hb) 濃度 (図表44)



患者調査による集計

グラフ54 集計対象：156,959人
 グラフ55 集計対象：155,817人
 グラフ56 集計対象：155,785人
 グラフ57 集計対象：155,720人
 グラフ58 集計対象：155,720人

解説

透析時間が長い方が、透析前ヘモグロビン (Hb) 濃度が高い傾向がみられた。
 血流量が多い方が、透析前Hb濃度が高い傾向がみられた。
 ダイアライザ膜面積が大きい方が、透析前Hb濃度が高い傾向がみられた。
 ダイアライザ機能分類別では、低分子タンパク除去能の高い型で、透析前Hb濃度が高い傾向がみられた。
 ダイアライザ膜種類別では、合成高分子系膜やCTA膜で、透析前Hb濃度が高い傾向がみられた。
 透析前Hb濃度は、赤血球造血因子製剤 (ESA) の投与量、鉄動態、併存病態などの影響を受けるので、ダイアライザの選択など透析条件が、Hb濃度に関与しているかどうかは判断できない。